

県大  
市大

公開講座  
2015

1

県立広島大学 × 広島市立大学

連携公開講座

# 「ひろしま学を 考える」

全4回

7/8

県立  
広島

広島築城を再考する

県立広島大学・教授  
秋山 伸隆

7/22

広島  
市立

伝統的工芸品  
広島銅蟲とは

広島市立大学・教授  
南 昌伸

7/15

県立  
広島

厳島の景観に  
魅せられた人々

県立広島大学・教授  
柳川 順子

7/29

広島  
市立

アスリートに刻まれた  
ひろしまの記憶

広島市立大学・教授  
曾根 幹子

対象

どなたでも

【定員：80名】  
※事前申込必要

受講料  
無料

平成25年度・26年度に引き続き「ひろしま学を考える」を開催します。

「ひろしま学」が対象とするのは、広島県あるいは広島市という行政区画ではなく、内容的にも特定の分野だけに限定されるものではありません。二つの大学の4人の講師が、それぞれの視点から「ひろしま」を解き明かします。

私たちが暮らす「ひろしま」のことを、もっとよく知りたいとお考えの皆さんのご参加をお待ちしています。

7月8日-7月29日 18:20-19:50

[毎週 水曜日]

申込方法

お申し込みは、往復はがきで、

往信面の裏

①郵便番号、②住所、③名前（ふりがな）、④電話番号

返信面の表

受講者の郵便番号、住所、名前（「〇〇〇〇様」）

を記入の上、平成27年6月23日（火）（消印有効）までに  
県立広島大学地域連携センター「ひろしま学講座」係宛  
に申し込んでください。申込多数の場合は抽選とし、受講の  
可否は申込締切日以降に返信はがきで通知します。

会場

サテライトキャンパスひろしま

申込・  
問合せ先

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号  
県立広島大学地域連携センター「ひろしま学講座」係  
TEL 082-251-9534

# 「ひろしま学を考える」

講座内容

7/8

(水)

第1回

## 広島築城を再考する

県立広島大学・教授 秋山 伸隆

広島市の都市的発展の出発点は、16世紀末の毛利輝元による広島築城です。なぜ輝元はこの地に築城したのでしょうか。この問題については、かつて『図説広島市史』(1989年)でも考えたことがありますが、今回はとくに「交通」という視点から再考してみたいと思います。

7/15

(水)

第2回

## 厳島の景観に魅せられた人々

県立広島大学・教授 柳川 順子

古来、多くの人々を惹きつけてきた厳島の景観は、江戸時代の半ば(18世紀初め)、当島選りすぐりの八つの美観「厳島八景」が定められて以降、より広範な地域の人々の関心を集めるようになりました。主に漢詩漢文の資料に基づいて、この間の経緯をたどります。

7/22

(水)

第3回

## 伝統的工芸品 広島銅蟲とは

広島市立大学・教授 南 昌伸

広島銅蟲について探っていきます。そのルーツはどこにあるのでしょうか。なぜ銅で作られるのでしょうか。400年近くに渡って広島で引き継がれてきた銅蟲とは何か。銅蟲のルーツ、魅力、伝統と技を紹介しながら、これからの継承について考えていきたいと思います。

7/29

(水)

第4回

## アスリートに刻まれたひろしまの記憶

広島市立大学・教授 曾根 幹子

戦前、世界を舞台に活躍したアスリートたちの中には、戦争や原爆を経験した者も少なくありません。彼らに刻まれた記憶を手がかりに、新たな視点で「ひろしま」を再考します。

### サテライトキャンパスひろしま

広島県民文化センター 5・6階

〒730-0051

広島市中区大手町1丁目5-3

TEL : 082-258-3131

FAX : 082-258-3010

